

間柴医院 院内感染対策について

1. 基本理念

間柴医院では、患者さまおよび職員の安全を守るため、院内感染の予防および感染拡大防止を重要な責務と考えています。医療関連感染の発生を未然に防止するとともに、万が一感染症が発生した場合には、速やかに対応し、拡大防止および早期終息を図る体制を整えています。当院では、この方針に基づき「院内感染対策指針」を策定し、組織的かつ継続的な感染対策を実施しています。

2. 院内感染対策指針について

本指針は院長が策定し、最新の医学的知見や社会状況を踏まえて、適宜見直し・改訂を行います。改訂にあたっては、科学的根拠に基づいた内容とし、職員の意見も反映させながら運用しています。また、職員への周知および遵守を徹底します。

3. 院内感染対策の管理体制

当院では、院長または院長が指名した院内感染管理者を配置し、院内感染対策の統括および実施を行っています。院内感染管理者は、院内感染対策が適切に行われるよう、職員への指導・教育および状況確認を行います。

4. 感染症発生時の対応

感染症の発生または疑いが生じた場合には、速やかに状況把握を行い、必要に応じて隔離や動線分離を実施します。標準予防策および感染経路別予防策を徹底し、職員への情報共有を行います。感染拡大の防止と早期収束を最優先とし、適切な対応を行います。

5. 感染症発生状況の報告

感染症の発生状況については、院内感染管理者を通じて院長へ報告します。また、必要に応じて保健所や行政機関等の関係機関へ報告し、連携を図ります。

6. 院内感染対策に関する研修

職員に対して、定期的な研修を実施し、感染対策の質の維持・向上に努めています。